

令和6年度
全国学力・学習状況調査
指導方法等の改善計画

呉市立音戸中学校
(音戸中学校区)

全国平均値との差

	国語	数学
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+5.0	+5.0
令和8年度	—	—
令和7年度	—	—
令和6年度	-2.0	-5.5
令和5年度	-4.8	-4.0
令和4年度	-3.0	-4.4

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

国語 本校 56 % 全国 58.1 % 県 58 % <table><caption>国語の学習状況比較 (推定値)</caption><tr><th>項目</th><th>本校</th><th>県平均</th><th>全国平均</th></tr><tr><td>話すこと・聞くこと</td><td>56%</td><td>58.1%</td><td>58%</td></tr><tr><td>書くこと</td><td>56%</td><td>58.1%</td><td>58%</td></tr><tr><td>読むこと</td><td>56%</td><td>58.1%</td><td>58%</td></tr><tr><td>言葉の特徴や使い方</td><td>56%</td><td>58.1%</td><td>58%</td></tr><tr><td>我が国の言語文化</td><td>56%</td><td>58.1%</td><td>58%</td></tr></table>	項目	本校	県平均	全国平均	話すこと・聞くこと	56%	58.1%	58%	書くこと	56%	58.1%	58%	読むこと	56%	58.1%	58%	言葉の特徴や使い方	56%	58.1%	58%	我が国の言語文化	56%	58.1%	58%	重点課題 ◎話し合いの話題や展開を捉え、必要に応じて質問することや、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることに課題がある。(1ー, 1四) ◇話し合いの話題や展開、資料の内容を多面的多角的に考察し、自己の意見と比較したり関連付けたりして表現することに課題がある。
項目	本校	県平均	全国平均																						
話すこと・聞くこと	56%	58.1%	58%																						
書くこと	56%	58.1%	58%																						
読むこと	56%	58.1%	58%																						
言葉の特徴や使い方	56%	58.1%	58%																						
我が国の言語文化	56%	58.1%	58%																						
	改善の方策 ◎話し合いのモデルを視聴し、論点をつかむ学習や、話し合いの仕方を学ぶ。クラスやグループ内に出た意見に対して、自分の考えを書く活動を行う。 ◇話す目的・内容を明確にし、資料や根拠を基に自分の考えをもたせ、相手の考えと比較したり関連付けたりしながら話し合えるような場を様々な教育活動の中で設定する。																								
	検証 ◎全国学力テストの類似問題 (3年生, 2月) 目標 48.0%→結果 51% ◇教職員アンケート「児童生徒が話し合えるようになっているか」 肯定的評価目標 80%→71%																								
数学 本校 47 % 全国 52.5 % 県 52 % <table><caption>数学の学習状況比較 (推定値)</caption><tr><th>項目</th><th>本校</th><th>県平均</th><th>全国平均</th></tr><tr><td>数と式</td><td>47%</td><td>52.5%</td><td>52%</td></tr><tr><td>図形</td><td>47%</td><td>52.5%</td><td>52%</td></tr><tr><td>関数</td><td>47%</td><td>52.5%</td><td>52%</td></tr><tr><td>データの活用</td><td>47%</td><td>52.5%</td><td>52%</td></tr></table>	項目	本校	県平均	全国平均	数と式	47%	52.5%	52%	図形	47%	52.5%	52%	関数	47%	52.5%	52%	データの活用	47%	52.5%	52%	重点課題 ◎全体的に課題がある。特に、グラフにおいて、x軸、y軸が何を表しているかななどの情報を読み取り、それらを基に判断することに課題がある。(8ー (1)) ◇事柄が成り立つ理由を数学的に説明することに課題がある。				
項目	本校	県平均	全国平均																						
数と式	47%	52.5%	52%																						
図形	47%	52.5%	52%																						
関数	47%	52.5%	52%																						
データの活用	47%	52.5%	52%																						
	改善の方策 ◎基礎学力・今までの知識の定着ができていないので、授業ごとに関連している過去の知識・解法を復習する活動を設定する。 ◇発達段階に応じて話型や条件を示しながら数学的に表現する学習を行う。																								
	検証 ◎全国学力の問題 (第3学年, 2月) 目標 55%→結果 66% ◇学年末テスト活用問題 (中学校記述式・小学校思考・判断・表現問題) 目標 80% →結果 62%																								

【来年度に向けて】

デジタル機器を活用したドリル学習や小テストなど、基礎的な内容の定着を図り、身につけた知識や力を活用する問題や場面を設定する。また、既習事項を根拠に説明できるように指導する。話し合いでは、視点を明確にし、発言内容を比較したり関連付けたりする活動を引き続き取り入れる。